



片中だより 10月

発行・編集:吹田市立片山中学校
令和6年(2024年)9月27日 発行

～自ら学び 自ら考え 自らつながる片中生の育成を目指して～

〒565-0835 大阪府吹田市竹谷町35-1 TEL:06-6387-1041 <http://www2.suita.ed.jp/school/jhs/06-katayama>

総合文化発表会を終えて

校長

暑すぎた夏が終わり、少し肌寒さを感じる朝を迎えるようになりました。季節は一步前進し、ようやく小さく小さく秋めいてきています。とはいえ、日中は平年より高い気温となる予報もあり、まだまだ油断は禁物です。体調管理に気をつけて、心も体も元気に過ごすよう心がけましょう。

先週末、震災の復旧が今なお望まれる能登半島で大雨による災害が発生しました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、復旧作業が進み、被災された皆様の生活が一日も早く平穏を取り戻せるよう心より願っています。このような自然災害は、いつどこで発生するか予測が困難です。日ごろから備えを怠らず、防災グッズの準備や避難場所の確認、家族との連絡手段の確認をしておくことが、大きな助けとなります。皆さんの大切な命と生活を守るため、どうか今一度、ご家族と一緒に防災対策を進めましょう。

さて、9月19日、20日に実施された総合文化発表会。どの発表もどの展示もとても素晴らしく見ごたえのあるものとなりました。短い取り組み期間ではありましたが、各学年やクラスやグループでの発表、あるいはクラブでの発表や展示に向けて準備をし、片中全体が心をひとつにして取り組んだ行事となりました。

この間の活動を見ていて、3年生は、みんなで行事を楽しもうとする姿がありました。活動中、それぞれがそれぞれの係や役割で仲間とともに活躍していました。修学旅行に引き続き、誰一人取り残すことなく、みんなで楽しむとはどういうことかを追求していたように思います。

2年生は、片中で3年目となるハロージョブプロジェクトの中間発表でした。先輩から受け継いだこのプロジェクトにさらに磨きをかけ、そして後輩へとバトンをつなげる。その役割をしっかりと果たしてくれていました。片中生の伝統をしっかりと引き継ぐ、頼もしい姿を見ることができました。

1年生は、これまで学習した福祉についての発表でした。今年度は、パラリンピックもあり、パラスポーツなど障がい者や福祉について学ぶ機会も多かったと思います。一人一人を大切に作る社会は、この片中でも大切に守ってきていることです。障がいがあってもなくても、生きる環境が違って、一人一人が大切に生きる。片中生が大切に作るスピリットを伝えてくれていました。

吹奏楽部の演奏、理科部の実験ビデオ、教科やクラブの展示発表の部分でも様々な工夫やアイデアを生かした作品が並んでいました。片中生の日ごろの学習や活動の成果を、お互いに見せ合うことで、さらに良い点を吸収し、学びを深め、片中生全員で力を合わせて、成功に導いたそんな総合文化発表会だったと思います。

つぎは、体育大会です。一つ一つの行事を重ね、片中生がさらに大きく成長してくれることを願っています。



総合文化発表会
2024. 9. 19-20.

学校の様子

『3年生 クラス劇』
各クラスで絆を深め
作り上げた舞台



1組 夕輝～僕の生きていた証～



2組 新・桃太郎



3組 セロ弾きのゴーシュ



4組 謎の大捜査線



5組 のび太と怪獣



6組 スクールおぼけ



7組 「 」とさげびました。

『2年生 HJP』
企業の課題に対し、オリジナ
ルアイデアを提案しました。



『1年生 福祉学習』
・舞台発表・展示発表
・体験コーナー



『吹奏楽部』
演奏発表



『理科部』
ビデオ上映



『美術部』
展示



美術科 作品展示



基礎学級 作品展示

『展示』



国語科 書写『大志』



1年社会科 地理新聞



2年社会科 歴史新聞



お知らせ

紙面のみの
掲載となります。

紙面のみの
掲載となります。